

ともに夢拓く

菊陽中学校
学校通信
令和7年7月2日
第3号
発行責任者
高橋 誉
松浦 直生

菊池郡市中学校 総合体育大会 ～大健闘！感動！～

六月二十一日から、菊池郡市中学校総合体育大会が行われ、運動部活動に取り組んできた生徒たちにとりましては、中学校三年間のまさに“集大成”となる大会です。昨年度より、通常開催に戻り、今年度は大会期間を分散し、菊池郡市・熊本市各所において、選手たちが最高のプレーを発揮できるような、大変素晴らしい会場を準備していただき、競技の結果、県大会

に出場する生徒もおり、部活動引退となり、また、一、二年生においては部活動の中心となり、三年生に代わります。学校の中核となるような姿を期待しています。保護者の皆様も、これまで同様に応援の声を、よろしく願います。

中体連大会及上位入賞 ※敬称略

ソフトテニス

男子団体優勝(県出場)
男子個人
井手・鍋島ペア 優勝(県出場)
中俣・橋原ペア 準優勝(県出場)
女子団体優勝(県出場)
女子個人
山内・野口ペア 準優勝(県出場)

バレーボール女子 準優勝

野球 準優勝



サッカー 優勝(県出場)

柔道

男子団体 準優勝
男子個人
軽量級の部 野田, 吉野 3位
中量級の部 馬場 2位
重量級の部 元村 3位
女子団体 優勝
女子個人の部 小鶴 優勝
阿南, 佐藤 3位



剣道

男子個人1・2年生の部
山形 2位

バスケットボール男子 3位

校長室だより

校長 高橋 誉

「美しき敗者」として
6月下旬に菊池郡市中学校総合体育大会(以下、中体連大会)が開催され、それぞれの部で自分たちが設定した目標に向かって、中体連大会に挑戦してくれました。結果は、それぞれ、目標を達成したチーム・ペア・個人もあれば、あとちょっとの所で目標に届かず心残りや悔いが残るチーム・ペア・個人もあつたようです。皆さんもご存知のとおり、中体連大会は全国大会まで繋がっている大会で、日本一を決める大会です。日本一になれるのは一つのチーム・ペア・個人だけですが、日本一以外は、全て最終的には「敗者」となります。私は、「敗者」は、2つに分かれると感じています。「美しき敗者」と「美しくない敗者」の2つです。

「美しき敗者」とは、自分の負けを素直に認め、自分に矢印を向け、その負けから何かを学び(教訓)、次の試合や人生にその教訓を生かし挑戦することができ、敗者です。言い換えれば、転んでも(負けても)、何かを掴んで(学んで)立ち上がり、また前を向いて走り出す(挑戦すること)ができるチーム・ペア・個人ということです。逆に「美しくない敗者」は、自分が負けた原因を周りのせいや審判のジャッジのせいにして、いつまでも負けを認めることができず、何も学ばず、次へ挑戦しない敗者のことです。言い換えると、転んだ原因を地球のせいにして、ただ駄々をこねて泣き、いつまでも立ち上がらうとしないわがままな子どものようなチーム・ペア・個人のことです。

私は、この「美しき敗者」という言葉をエールとして菊陽中学校の全生徒(全挑戦者)に贈ります。美しき敗者は、記録には残らない。しかし、多くの人々(皆さんを支えてくれた家族やなかま、指導者そして観衆)の記憶の中に、感動的な「美しき敗者」として未来永劫ずっと生き続ける。(郡市大会総括並びに県推戴式での校長講話より)

六月十七日、生徒総会が行われました。今年度の生徒会スロガンは「つなぐ笑顔輝く活気あふれる学校創りに決まりました。様々な疑問に対して丁寧に回答することで、スローガンに込められた“想い”を全校生徒で共有することができました。生徒一人一人が菊陽中学生としての誇りと自覚を持ち、学校をより良くしていきたいという想いのもと、自主的な活動が行われていきま

